

取組と目標に対する自己評価シート  
(介護給付適正化)

年度	令和4年度
----	-------

実績評価

実施内容
<ul style="list-style-type: none"><li>○全受給者に対し、給付費通知を送付。(2回/年)</li><li>○コロナ禍において、ケアプラン点検は書面にて実施し、事業所を訪問する運営指導は実施しなかった。</li><li>○介護支援専門員と地域包括支援センター及び行政(保険者)との情報共有、意見交換の場として、定期的に介護支援専門員連絡会議を実施。</li><li>○住宅改修については、全申請件数、訪問による事前調査を実施。</li></ul>
自己評価結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・介護支援専門員一人ひとりとの意見交換の機会にしている対面でのケアプラン点検は実施できなかったが、通常業務において、顔の見える関係が築かれており、友好的関係性の中、個別支援にあたることができている。</li><li>・毎年、全事業所のケアプラン点検を実施することで、介護支援専門員のスキル向上になっていることを実感している。</li><li>・全申請件数の住宅改修事前指導(現地調査)を実施することで、給付適正化の観点においては、過剰なサービスの抑制につながっているものとする。また、複数職員が対象者宅を訪問することで、地域住民の生活実態と課題を確認する機会としている。</li></ul>
課題と対応策
<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍において、多職種で意見交換できる機会が減っている為、多職種で学び合える機会も激減している。</li><li>・自立支援型地域ケア会議を立ち上げることにより、地域資源の活用と併せ、介護予防・日常生活支援総合事業の過剰なサービス提供を抑制する視点を養う必要がある。自立支援型地域ケア会議において、第2層協議体による地域資源を共有し、他市町にある同様サービスの提供方法について、意見交換し、インフォーマルサービスのイメージを膨らませることができた。</li></ul>